# 三石文隆（みついしふみたか）

令和８年 12月号

## 高知県議会 三石文隆議員特集号

# 県政報告

〒780-8570 高知市丸ノ内 1-2-20 県議会自由民主党控室　TEL 088-823-9522





現場の先生が一人で抱え込まず、組織として対応できる指針を早急に策定すべきだ！

令和8年6月定例会
（質疑並びに一般質問）
- 知事の政治姿勢について
- カスタマーハラスメント対策について
- 昭和100年事業について
- 子ども食堂の意義について
- 幼児教育について
- 交通マナーについて
- 高校教育改革について
- 学習指導要領の改訂について
- 高校教育改革について
- 国旗、国歌について

### カスタマーハラスメント対策について



**■三石議員**　本年3月に策定した基本方針を議員も含め、関係者に対して、どのように周知徹底し、意識啓発を図るのか所見を聞く。



**■西森副知事**　県のサービスの受け手と提供する側の双方に、正しい知識と理解が必要であり、今後は県の広報紙やＳＮＳ等での周知と、職員には研修や基本方針の浸透度の確認を行います。

また、組織として毅然と対応することは必要不可であり、県庁全体で事例を把握し、職員を守る姿勢で臨んでまいります。



**■三石議員**　学校版対応指針の具体的な内容や策定スケジュールについて聞く。



**■今城教育長**　本年９月を目途に学校版対応指針を策定します。保護者等とのより良い関係づくりやトラブル防止の留意点を定めた上で、困難な事例にも教職員を孤立させず、組織として毅然と対応するためのルールを示します。

策定後は関係者に周知を図り、相互の信頼関係を構築できるよう取り組みます。

令和８年６月定例会より抜粋







**知事との意見交換会**

令和８年９月７日、自民党会派と知事とで意見交換会が行われました。

## 三石議員の活動記録

総務委員会では令和８年９月２日から４日まで、北海道において、北海道松前高等学校や函館市地域交流まちづくりセンター、平取町立二風谷アイヌ文化博物館などで調査（施設見学や意見交換）を行いました。



松前高等学校



函館市地域交流まちづくりセンター



平取町立二風谷アイヌ文化博物館



北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の取組について調査してきました。







### 〈県政主要政策の推進〉

- 戦略的な人口減少対策の推進
- 南海トラフ地震対策とインフラ整備の加速化
- 教育の充実、文化芸術とスポーツの振興
- 産業振興計画の推進による経済の活性化
- 日本一の健康長寿県づくりの推進

### 三石文隆議員のプロフィール

- 生年月日　昭和29年7月17日
- 学　　歴　昭和52年3月 国士舘大学法学部卒業
- 職　　歴　昭和53年4月 高知市立西部中学校教諭採用
  昭和58年4月 高知市立潮江中学校教諭
  平成５年3月 高知市立潮江中学校教諭を退職、政治の道を志す。
  平成11年4月 高知県議会議員に初当選
  平成15年4月 高知県議会議員（2期）
  平成19年4月 高知県議会議員（3期）
  平成23年4月 高知県議会議員（4期）
  平成27年4月 高知県議会議員（5期）
  平成31年4月 高知県議会議員（6期）
  令和５年4月 高知県議会議員（7期）
  令和８年4月 これまで高知県議会副議長、高知県議会議長（3回）、自民党県議会議員団会長等の要職を歴任、現在に至る。







本会議、常任委員会、特別委員会は特別の場合を除き、どなたでも傍聴できます。

**三石文隆（みついしふみたか）県政事務所**
〒780-0966　高知市福井扇町13番27号
TEL 088-872-0066　FAX 088-872-1113
高知県議会
高知県議会ホームページ
https://gikai.pref.kochi.lg.jp



この広報誌に関するご意見・ご要望をお聞かせください　〒780-8570　高知市丸ノ内1-2-20　県議会自由民主党控室　TEL 088-823-9522



高知県議会

# 県政報告

三石文隆議員特集号

令和８年６月定例会より

令和8年6月
定例会



## 知事の政治姿勢について



答弁する濵田知事

**■三石議員**　困難な時代に立ち向かう、政治家としての合意形成の哲学について聞く。

◀

**■濵田知事**　客観的データで必要性を浮き彫りにした上で、持続可能なあるべき姿を選択肢として提示し、真摯に対話を重ね、目指すべき姿への道筋を探る手順で臨んできました。

同時に、意見が対立する中でも、自らがベストと信じる決断を下し一歩も引かない強いリーダーシップが必要です。

さらに「金だけ、今だけ、自分だけ」といった風潮にあらがい、高知県への愛と生まれ変わる勇気を唱えることも必要だと考えています。

## 昭和100年事業について

**■三石議員**　若者に響くアプローチを検討すべきと考えるが、進捗状況と今後の施策の在り方について聞く。

◀

**■小笠原総合企画部長**　本年12月の開催に向けて準備を進めています。記念式典や中高・大学生等を対象とした記念フォーラム、小中高校生対象の「高知みらいコンテスト」の実施など、本県の価値を再認識するとともに、未来への希望を育む機会とします。

また、記念映像やコンテスト作品を学校教育にも活用し、継続的なふるさと教育やキャリア教育の充実につなげてまいります。

## 交通マナーについて

**■三石議員**　信号機のない横断歩道における、車の一時停止率上昇の改善要因と、今後の展開について聞く。

**■岩田警察本部長**　広報啓発や安全教育、交通指導取締りの強化に加え、「あいさつ県民運動」により歩行者優先の意識が浸透した成果であり、県民文化として定着するよう努めてまいります。

## 幼児教育について

**■三石議員**　乳幼児期の教育が子どもの人生に与える影響と、その教育的意義について聞く。

◀

**■今城教育長**　乳幼児期は、生涯にわたる「生きる力」の基礎を築く重要な時期です。

保護者や身近な大人との安定した関わりを通して、基本的信頼感が育くまれ、自己肯定感や社会性の基盤となります。

子どもの成長に関わる全ての大人が、その重要性を認識する必要があると考えております。

## 子ども食堂の意義について

**■三石議員**　保護者への親の第一義的責任を自覚してもらうための啓発について聞く。

**■近藤子ども福祉政策部長**　子ども食堂での子育て支援講座や情報交換の促進、食育への助言といった取組を推進してきました。

今後は、家庭教育冊子を子ども食堂に配布、スタッフ研修に「親育ち」をテーマとした内容を加え、保護者が子どもの教育に責任を果たせるよう支援してまいります。

## 高校教育改革について



**■三石議員**　商工労働部が、若者の育成に関わっていくことの展望について聞く。

◀

**■大原商工労働部長**　商工業をリードする若者の育成は重要な課題であり、①高校生が県内企業を知る機会の創出、②産業界と学校との連携の後押し、③若者が活躍できる魅力ある企業づくりの３つの観点から、関わりたいと考えています。

今後も教育委員会と連携を図り、若者の育成と県内企業の磨き上げに取り組みます。

**■三石議員**　産業界や大学を巻き込んだオール高知の推進体制を構築することについて聞く。

◀

**■濵田知事**　人口減少やＡＩ技術の進展など社会・産業構造の変化を見据え、産学官で高校教育の在り方を考える「若者応援産学官フォーラム」を創設しました。

本年度は、２０４０年の労働需給を推計し、産業ニーズを見据えた教育カリキュラムや定員などの在り方を議論し、関係者の心をひとつにして改革を進めてまいります。

## 国旗・国歌について

**■三石議員**　国際社会における国旗・国歌の重みについて聞く。また、子どもたちがそれらを尊重する態度を身に付けることの重要性への認識について、併せて聞く。

◀

**■濵田知事**　国旗や国歌はその国の象徴でもあり、国際交流における礼節と友好の要となるものです。

また自国、諸外国の国旗・国歌を尊重する姿勢や態度を身につけることは重要であり、子どもたちには、我が国の歴史や文化を学ぶ中で、国旗・国歌を正しく理解し、日本人としての誇りとアイデンティティを身に付けてもらうことを願っております。

**■三石議員**　学習指導要領において、入学式等における国旗掲揚と国歌斉唱の指導が明記されている。土佐中・高等学校で長年守られていない現状の受け止めと、是正に向けた具体的な姿勢と覚悟を聞く。

◀

**■依光文化生活部長**　長年にわたり幾度となく実施を要請してきたにもかかわらず、現在も実施されていないことは、極めて残念であり、遺憾であります。

今後は、行政指導文書と明示した上で、より強く実施要請を行う考えです。

引き続き、私自身が学校を訪問し、学習指導要領の法規性、国旗掲揚・国歌斉唱の意義や、未実施による生徒への不利益を粘り強く説明してまいります。

## 高知市の学力向上対策について

**■三石議員**　高知市と高知市以外の教員の人事交流の現状について聞く。

◀

**■今城教育長**　高知市と県内３教育事務所管内の４ブロックで、広域交流を推進しています。

令和８年４月１日の人事異動では74人が交流し、10年前の約1.7倍、その内管理職は24人で約４倍となりました。

今後も人事交流をより一層推進し、教育課題の改善や学校組織の活性化などを目指してまいります。

## 学力指導要領の改訂について

**■三石議員**　学習指導要領改訂に向け、柔軟な教育課程編成の狙いを浸透させる具体策を聞く。

◀

**■今城教育長**　検討されている調整授業時数制度は、授業時数を柔軟に調整し、子どもの個性や特性に応じた教育課程の編成を促進するものです。

本年度は研究校７校の小中学校において、先行研究を行い、探究的な学習の充実に取り組んでいます。

今後は成果や課題を研修会等で広く発信し、各校で特色ある教育課程を編成できるよう支援してまいります。